

## IV. 平成27年 3 連携大学授業スケジュール

I. STEP1 (基礎知識の修得)

【3年生】ユニット名：リハビリテーション科学概論

授業回 (80分)	日付	時限	テーマ	授業内容および学習課題	担当者	担当WG
1★	4月2日	2限	<b>*全身がわかる歯科医師がなぜ必要か</b>	全身がわかる歯科医師がなぜ必要かについて学習する。	豊下 祥史 講師 (咬合再建補綴学) 草野 薫 講師 (顎顔面口腔外科学)	2
2	4月9日	2限	<b>身体運動機能の基本 1</b>	身体運動機能の基本を理解する。	堀本 佳誉 教授	
3	4月16日	2限	<b>身体運動機能の基本 2</b>	身体運動機能の基本を理解する。	堀本 佳誉 教授	
4	4月23日	2限	<b>身体運動機能の基本 3</b>	身体運動機能の基本を理解する。	堀本 佳誉 教授	
5	4月30日	2限	<b>リハビリテーションの概念 1</b>	リハビリテーションの概念を理解する。	鎌田 樹寛 教授	
6	5月7日	2限	<b>高齢者の心身の特徴 1</b>	高齢者の心身の特徴を理解する。	鎌田 樹寛 教授	
7	5月14日	2限	<b>身体運動機能の障がいとその回復</b>	身体運動機能の障がいとその回復の概念を理解する。	堀本 佳誉 教授	
8	5月28日	2限	<b>リハビリテーションの概念 2 (実習；車いす体験)</b>	車いす体験を通じて障がいを理解する。	堀本 佳誉 教授 鎌田 樹寛 教授	
9	6月4日	2限	<b>高齢者の心身の特徴 2 (実習；高齢者体験)</b>	高齢者体験実習を通じて高齢者の心身の特徴を理解する。	堀本 佳誉 教授 鎌田 樹寛 教授	
10	6月11日	2限	<b>身体運動機能の障がいとその回復 (実習；脳卒中体験)</b>	片麻痺体験を通じて障がいを理解する。	堀本 佳誉 教授 鎌田 樹寛 教授	
11	6月25日	2限	<b>他職種連携</b>	多職種連携について理解する。	鎌田 樹寛 教授	
12★	6月30日	2限	<b>*超高齢社会における問題点</b>	2025年問題を理解する。	千葉 逸朗 教授 (保健衛生学) 入江 一元 教授 (組織学)	3
13★	7月7日	2限	<b>*高齢者の心身の特徴 3</b>	高齢者の心身の特徴を理解する。	越野 寿 教授 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史 講師 (咬合再建補綴学)	4
14★	7月14日	2限	<b>*口腔乾燥症と疾患</b>	口腔乾燥症の病態と関連する疾患について理解する。	安彦 善裕 教授 (臨床病理学) 長澤 敏行 教授 (臨床教育管理運営)	1
15★	7月21日	2限	<b>*高齢者の心身の特徴 4</b>	高齢者の心身の特徴を理解する。	越野 寿 教授 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史 講師 (咬合再建補綴学)	4

## II. STEP2（臨床推論能力の養成）

### 【5年生】ユニット名：高齢者歯科学

授業回 (80分)	日付	時限	テーマ	授業内容および学習課題	担当者	担当WG
1	4月2日	5限	<b>高齢者理解の基本 高齢者と社会</b>	加齢の概念を知り、歯科が高齢者の生活の質（QOL）の向上に果たす役割を学習する。	越野 寿 教授 (咬合再建補綴学)	
2	4月3日	5限	<b>高齢者の身体的特徴</b>	生理機能・代謝機能・免疫機能などの老化とその臨床的意味について学習する。	長田 和実 准教授	
3	4月7日	4限	<b>高齢者の薬物動態</b>	高齢者における薬物動態の薬物動態と加齢変化、薬物治療時の注意点を学習する。	東城 庸介 教授	
4	5月7日	2限	<b>口腔と健康 介護保険と高齢者歯科</b>	高齢者に関連する保険・医療・福祉制度について学習する。	千葉 逸朗 教授 (保健衛生学)	
5	5月29日	1限	<b>高齢者の全身管理 (高齢者の基礎疾患)</b>	高齢者にみられる全身性疾患と歯科領域の病態との関連および高齢者の基礎疾患と歯科治療における注意点を学習する。	家子 正裕 教授	
6	5月8日	1限	<b>顎口腔領域の疾患 高齢者の感染予防対策 高齢者の口腔外科処置</b>	①高齢者に多い顎口腔領域の疾患と感染予防について説明できる。 ②高齢者の口腔外科処置・手術についての反応の特徴を概説できる。 ③高齢者の全身管理に留意すべき全身疾患・状態	柴田 考典 教授	
7	5月1日	4限	<b>歯・歯周組織の老化と治療</b>	歯および歯周組織の加齢変化と高齢者における歯の保存治療の留意点について学習する。	古市 保志 教授	
8	9月24日	2限	<b>高齢者の精神的・心理的 特徴 口腔の変化と問題点</b>	高齢者における口腔の変化と問題点を学ぶとともに、欠損補綴治療の在り方を学習する。	越野 寿 教授 (咬合再建補綴学)	
9	5月22日	3限	<b>言語障害と歯科的対応</b>	高齢者における言語障害の発現と歯科的対応方法について学ぶ。	越野 寿 教授 (咬合再建補綴学) 會田 英紀 准教授	
10	4月20日	2限	<b>摂食嚥下障害 リハビリテーション</b>	摂食嚥下障害について理解し、正しい口腔ケアについて学習する。	木下 憲治 教授	
11★	8月28日	1限	<b>*超高齢社会とチーム医療 ①</b>	高齢者の心身の特徴を概説できる。	越野 寿 教授 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史 講師 (咬合再建補綴学)	4
12★		2限	<b>*VP教材についての オリエンテーション</b>	VP教材の使用方法について学ぶ。	越野 寿 教授 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史 講師 (咬合再建補綴学)	4
13★	9月18日	1限	<b>*チーム医療における 歯科医師の役割 (回復期)</b>	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して、退院後に行う地域連携医療の実際について理解する。	越野 寿 教授 (咬合再建補綴学) 豊下 祥史 講師 (咬合再建補綴学)	4
14★		2限				4

I. STEP1 (基礎知識の修得)

【3年生】社会と歯科医療・チーム医療 (大学間連携IT教育)

授業回	年月日	時限	ユニット名/一般目標	到達目標	担当	担当WG
1★	9月28日 (月)	4限	<b>オリエンテーション</b> 三大学連携IT教育の目的、 使用設備について理解する。	1. 三大学連携IT教育で学ぶ目標を説明する。 2. ITシステムに接続できる。 3. ITシステムを利用できる。 4. PCを用いて必要な情報を得る。 5. 電子ポートフォリオを作成する。	城 茂治 教授 (歯科麻酔学分野)	
2★	10月7日 (水)	1限	<b>高齢社会と歯科医療 1</b> 日本の将来人口推計等から 今後の日本の医療・歯科医療 体系を考える。	1. 高齢化社会について説明する。 2. 高齢化社会と歯科医療について概説する。 3. 高齢者に多く見られる基礎疾患について列挙 する。	岸 光男 准教授 (予防歯科学分野)	3, 4
3★	10月7日 (水)	2限	<b>高齢化とチーム医療 1</b> 脳梗塞を合併した歯科患者を 通じて医療・歯科医療の 仕組みと連携を学ぶ。	1. 脳梗塞発症から症状の回復までの一連の医療 体制を概説する。 2. 医療・歯科医療の連携と病院におけるチーム 医療の基本を説明する。	藤村 朗 教授 (機能形態学分野)	3, 4
4★	10月8日 (木)	1限	<b>高齢社会とチーム医療 2</b> 脳梗塞を合併した歯科患者を 通じて歯科が担う役割を学ぶ。	1. 脳梗塞の症状と口腔の機能に対する影響を 説明する。 2. 障害を持つ患者の口腔ケアの目的と方法を 説明する。	藤村 朗 教授 (機能形態学分野) 須和部 京介 助教 (歯周療法学分野)	3, 4
5★	10月8日 (木)	2限	<b>高齢社会と歯科医療 2</b> 高齢者の身体的、心理的特徴 を理解し、医療面接時の注意点 について学ぶ。	1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 主訴、既往歴、現病歴の定義を説明する。 3. 医療情報の収集法を説明する。 4. 基礎疾患を有する高齢者での医療面接での 注意点を列挙する。 5. SOAPについて説明する。	城 茂治 教授 (歯科麻酔学分野) 近藤 尚知 教授 (補綴・インプラント学講座)	2
6★	11月4日 (水)	1限	<b>高齢者の口腔疾患</b> 解剖・生理学的知識を再確認し、 高齢者に多く見られる口腔疾患 (特に口腔乾燥症)に関する 知識を習得する。	1. 唾液の分泌に影響を与える因子について 理解する。 2. 高齢者の口腔乾燥症による諸症状を理解 する。 3. 口腔乾燥症と誤嚥性肺炎との関連性について 理解する。嚥下機能測定、および咬合力測定 を理解する。	小林 琢也 講師 (補綴・インプラント学講座) 熊谷 章子 助教 (口腔外科学分野)	1
7★	11月5日 (木)	1限	<b>高齢者の口腔疾患</b> 高齢者の口腔乾燥症を理解することで、そ の原因、口腔内所見および検査法に関する 知識を習得する。	1. 口腔乾燥症の発症メカニズムを理解する。 2. 口腔乾燥症と基礎疾患との関連について 理解する。 3. 口腔乾燥症の口腔内所見について理解する。 唾液分泌能測定、口腔乾燥度測定について 理解する。	熊谷 章子 助教 (口腔外科学分野) 小林 琢也 講師 (補綴・インプラント学講座)	1
8	11月5日 (木)	2限	<b>自主学习</b> (出席確認なし)		城 茂治 教授	

II. STEP2 (臨床推論能力の養成)

【4年生】 社会と歯科医療・チーム医療 (大学間連携IT教育)

授業回	年月日	時限	ユニット名/一般目標	到達目標	担当	担当WG
1★	9月11日 (金)	4限	<b>オリエンテーション</b> 三大学連携IT教育の目的、使用設備について理解する。	1. 三大学連携IT教育で学ぶ目標を説明する。 2. ITシステムに接続できる。 3. ITシステムを利用できる。 4. PCを用いて必要な情報を得る。 電子ポートフォリオを作成する。	城 茂治 教授 (歯科麻酔学分野)	
2★	9月25日 (金)	4限	<b>高齢社会とチーム医療 1</b> 脳梗塞などの疾患で入院した高齢者に対するチーム医療での歯科の関わりについて学び、急性期の歯科医師の役割を理解する。	1. 脳卒中中の急性期症状と全身および口腔の機能について説明する。 2. 急性期のチーム医療体制を説明する。 3. 病院における急性期の医療・歯科の連携医療を説明する。 病院における急性期患者に対する口腔ケアの実施について説明する。	藤村 朗 教授 (機能形態学分野) 須和部 京介 助教 (歯周療法学分野)	3, 4
3★	10月2日 (金)	1限	<b>高齢社会とチーム医療 2</b> 脳梗塞などの疾患を合併した高齢者に対するチーム医療での歯科の関わりについて学び、慢性期の歯科医師の役割を理解する。	1. 脳卒中中の慢性期症状と全身および口腔の機能について説明する。 2. 回復期のチーム医療体制を説明する。 3. 医療・歯科医療の連携と在宅におけるチーム医療の基本を説明する。 4. 在宅での慢性期疾患を合併した患者に対する口腔ケアの実施について説明する。	藤村 朗 教授 (機能形態学分野) 須和部 京介 助教 (歯周療法学分野)	3, 4
4	10月2日 (金)	2限	<b>自主学習</b> (出席確認なし)		城 茂治 教授	
5★	10月6日 (火)	3限	<b>高齢社会と歯科医療 1</b> 高齢者で多く見られる基礎的疾患を理解し、歯科治療時の注意点について学ぶ。	1. 高齢者で多く見られる基礎疾患を挙げる。 2. 糖尿病について説明する。 3. 高血圧症について説明する。 4. 糖尿病を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を挙げる。 5. 高血圧症を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を挙げる。	城 茂治 教授 (歯科麻酔学分野) 近藤尚知 教授 (補綴・インプラント学講座)	2
6★	10月6日 (火)	4限	<b>高齢社会と歯科医療 2</b> 高齢者で多く見られる基礎的疾患を理解し、歯科治療時の注意点について学ぶ。	1. 不整脈について説明する。 2. 心房細動を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を挙げる。 3. 抗凝固療法の適応について説明する。 4. 抗凝固療法中の高齢者の歯科治療中の注意点を挙げる。	城 茂治 教授 (歯科麻酔学分野) 近藤 尚知 教授 (補綴・インプラント学講座)	2
7★	10月8日 (木)	4限	<b>高齢者の口腔疾患 1</b> 口腔乾燥症の原因について理解することで、口腔乾燥を訴える患者に対する適切な医療面接法を習得する。	1. 口腔乾燥を訴える患者の医療面接の要点を理解する。 2. 口腔乾燥を訴える患者の診断について理解する。 3. 口腔乾燥症と基礎疾患との関連について理解する。 4. 口腔乾燥症の診断基準を理解する。 5. 口腔乾燥症の治療法を理解する。	小林 琢也 講師 (補綴・インプラント学講座) 熊谷 章子 助教 (口腔外科学分野)	1
8	10月9日 (金)	4限	<b>自主学習</b> (出席確認なし)		城 茂治 教授	
9★	10月15日 (木)	3, 4限	<b>高齢者の口腔疾患 2</b> 口腔乾燥症の口腔診査法と検査に関する知識、技術、態度を習得し実践できる。	1. 口腔内環境・機能検査として、唾液分泌能測定、口腔乾燥度測定、細菌数測定、嚥下機能測定、および咬合力測定を実施する。 2. 検査の結果を評価する。 3. 検査の結果を説明する。 検査結果から診断する。	岸 光男 准教授 (予防歯科学分野) 小林 琢也 講師 熊谷 章子 助教	1

I. STEP1 (基礎知識の修得)

【3年生】 口腔医学とチーム医療 I

授業回	年月日	時限	学習項目	学習内容	担当	担当WG
1★	平成27年 9月15日 (火)	1限	全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？	社会の歯科医療に対するニーズの変化にともなって、何を学ぶべきか考える。	片岡 竜太 教授 (歯学部 歯学教育学)	2
2★		2限	我が国の高齢社会の特徴	我が国の超高齢社会と医療の仕組みの変化について学習する。	弘中 祥司 教授 (歯学部 口腔衛生学) →石川 健太郎 講師 (口腔衛生学)	3、4
3★	平成27年 9月29日 (火)	1限	高齢者の特徴	超高齢社会における高齢者の身体的・精神的変化について学習する。	弘中 祥司 教授 (歯学部 口腔衛生学)	3、4
4★		2限	脳梗塞を発症した患者から、医療の仕組みを学ぶ (急性期)	脳梗塞を発症し、入院加療の後に、医療・歯科医療の仕組みと連携を学ぶ。チーム医療の基本 (構成メンバーと役割) および歯科が担う口腔のケアの目的を学ぶ (急性期)。	弘中 祥司 教授 (歯学部 口腔衛生学)	3
5★		3限	脳梗塞を発症した患者から、医療の仕組みを学ぶ (回復期)	脳梗塞を発症し、入院加療の後に、自宅療養中の患者の歯科受診を通して、医療・歯科医療の仕組みと連携を学ぶ。チーム医療の基本 (構成メンバーと役割) および歯科が担う口腔のケアの目的を学ぶ (回復期)。	弘中 祥司 教授 (歯学部 口腔衛生学)	4
6★		4限	口腔乾燥症と疾患①	唾液の分泌メカニズムについてe-learningとリソース講義を用いて学習する。唾液分泌障害を生じる疾患の基本的メカニズムについて学習する。	美島 健二 教授 (歯学部 口腔病理学) 安原 理佳 助教 (歯学部 口腔病理学)	1
7★	平成27年 10月6日 (火)	1限	口腔乾燥症と疾患②	e-learningを用いて唾液分泌障害を生じる疾患症例の臨床所見について学習し、唾液分泌障害を呈する疾患についてリソース講義を通して理解する。 口腔乾燥症患者の口腔内症状を理解し、当該患者の口腔ケアについて学習する。	美島 健二 教授 (歯学部 口腔病理学) 安原 理佳 助教 (歯学部 口腔病理学)	1
8★		2限			美島 健二 教授 (歯学部 口腔病理学) 安原 理佳 助教 (歯学部 口腔病理学) 弘中 祥司 教授 (歯学部 口腔衛生学)	
9★	平成27年 10月13日 (火)	1限	口腔診察・検査実習と疾患	唾液分泌能 (ガム、サクソントテスト)、口腔乾燥度、細菌数、嚥下機能、および咬合力の測定を学生相互で実施し、結果をカルテに記入する。異常値が得られた場合、原因や原疾患についてe-learningで学ぶ。これらの検査を活用したD5病棟実習についてリソース講義で学ぶ。  【5号館5階実習室 (確定) 担当: 望月】 準備打ち合わせ: 6月~7月を予定。	美島 健二 教授 (歯学部 口腔病理学) 田中 準一 助教 (歯学部 口腔病理学) 井上 富雄 教授 (歯学部 口腔生理学) 中村 史朗 講師 (歯学部 口腔生理学) 望月 文子 助教 (歯学部 口腔生理学) 桑田 啓貴 教授 (歯学部 口腔微生物学) 森崎 弘史 講師 (歯学部 口腔微生物学)	1 3 4
10★		2限				

II. STEP2 (臨床推論能力の養成)

【4年生】チーム医療と口腔医学II

授業回	年月日	時限	学習項目	学習内容	担当	担当WG
1★	平成27年 10月13日 (火)	3限	歯科診療と全身疾患 チーム医療と口腔内科	本ユニットの目的を理解する。基礎疾患と歯科診療との関連についてe-ラーニングなどで学ぶ。チーム医療を行うにあたり、口腔内科的な知識がどのように必要であるかを理解する	片岡 竜太 教授 (歯学部 歯科教育推進室)	2
2★		4限	病棟における口腔ケア	病棟において遭遇する疾患と口腔ケアについて学習する。	弘中 祥司 教授 (歯学部 口腔衛生学) →石川 健太郎 講師 (口腔衛生学)	3
3★	平成27年 10月20日 (火)	3限	口腔乾燥を訴える患者に 対する医療面接・口腔乾燥症 の症状と診断	口腔乾燥を訴える患者の鑑別診断についてe-ラーニングで学ぶ。口腔乾燥を訴える患者に対して医療面接で聞く内容について、VPやe-ラーニングで学ぶ。口腔乾燥症の症状や診断について学ぶ。	美島 健二 教授 (歯学部 口腔病理学) 安原 理佳 助教 (歯学部 口腔病理学) 佐藤 裕二 教授 (歯学部 高齢者歯科学) 鎌谷 宇明 講師 (歯学部顎顔面口腔外科)	1
4★		4限				
5★	平成27年 10月21日 (水)	3限	口腔乾燥症に対するケア	口腔乾燥が見られる患者に対する口腔のケアについて学ぶ。	弘中 祥司 教授 (歯学部 口腔衛生学)	3
6★		4限	高齢社会と歯科医療	1. 高齢者で多く見られる基礎疾患を列挙する。 2. 不整脈について説明する。 3. 心房細動を合併する高齢者の歯科治療中の注意点を列挙する。	片岡 竜太 教授 (歯学部 歯科教育推進室)	4
7	平成27年 10月27日 (火)	3限	薬物に関する情報収集と 処方箋の書き方	お薬手帳や医薬品添付文書から必要な情報を収集する。処方箋の書き方を学ぶ	加藤 裕久 教授 (薬学部 医薬情報解析学)	
8		4限	高齢者に対する服薬指導の 実際を学ぶ	医薬品と剤形の種類を学び嚥下障害や口腔乾燥を有する患者に対する服薬の実際を学ぶ。	倉田 なおみ 教授 (薬学部 地域医療薬学)	
9	平成27年 10月28日 (水)	3限	薬物の副作用とその予防策	薬物によって生じる代表的な副作用とその症状、治療、予防策を説明できる	山元 俊憲 教授 (薬学部 臨床薬学)	
10		4限	特別の配慮が必要な患者 に対する薬物治療	高齢者、妊婦、小児と歯科診療で遭遇する頻度が高い疾患の患者 (高血圧、不整脈、虚血性心疾患)、脳卒中、糖尿病、喘息、骨粗鬆症など) に対する薬物治療について学ぶ。	木内 祐二 教授 (薬学部 薬学教育推進室)	
11	平成27年 11月4日 (水)	3限	EBMと診療ガイドライン の活用	代表的な疾患 (循環器、脳血管障害) の診療ガイドラインと標準的な薬物治療を学ぶと同時に歯科診療との関連を考える。	加藤 裕久 教授 (薬学部 医薬情報解析学)	
12		4限	中間試験	e-ラーニング中間試験 (薬学含む)	片岡 竜太 教授 (歯学部 歯科教育推進室)	
13★	平成27年 11月10日 (火)	3限	チーム医療における 歯科医師の役割 (急性期)	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して入院中に行うチーム医療の実際について、VPやe-ラーニングで学ぶ。	弘中 祥司 教授 (口腔衛生学)	3
14★		4限	チーム医療における 歯科医師の役割 (回復期)	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して退院後に行う地域連携医療の実際についてVPやe-ラーニングで学ぶ。	弘中 祥司 教授 (口腔衛生学)	3
15, 16	平成27年 11月11日 (水)	3限	基礎疾患を有する患者・がん化学 療法、放射線治療中の患者に 対する口腔ケアを学ぶ	学部連携病棟実習、地域連携歯科医療実習に備えて、基礎疾患を有する患者・がん化学療法、放射線治療中の患者の口腔内の症状とそれぞれに対応した口腔ケアの実際を学ぶ。 【5号館3階実習室 (確定) 担当: 石川】 準備打ち合わせ: 6月~7月を予定。	弘中 祥司 教授 (口腔衛生学) 石川 健太郎 講師 (口腔衛生学) 内海 明美 講師 (口腔衛生学) 石崎 晶子 助教 (口腔衛生学)	
		4限				
17, 18	平成27年 11月18日 (水)	3限	投与されている薬剤から 患者の全身状態、口腔への 影響を予測する。	演習形式でお薬手帳を見て、患者の全身状態と口腔への影響を予測する方法を学ぶ。	倉田 なおみ 教授 (薬学部 地域医療薬学) 木内 祐二 教授 (薬学部 薬学教育推進室)	
		4限				